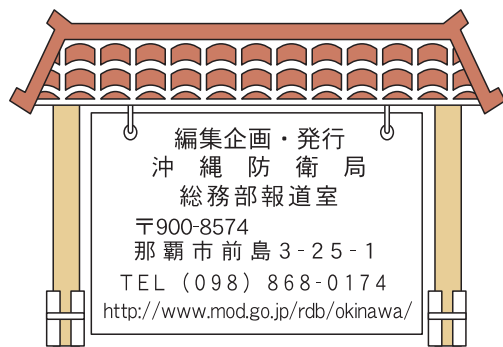




はいさい



編集企画・発行
 沖縄防衛局
 総務部報道室
 〒900-8574
 那覇市前島3-25-1
 TEL (098) 868-0174
<http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>

守礼の門

第55回全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクール
 図画の部 最優秀賞

宮城 渉(小6)作(職員 宮城 浩長男)



美ら島の魅力



岡久 敏明

昨年9月1日の防衛省全体の大きな組織改編の中での慌ただしい人事異動から、早6か月になるうとしています。強い夏の

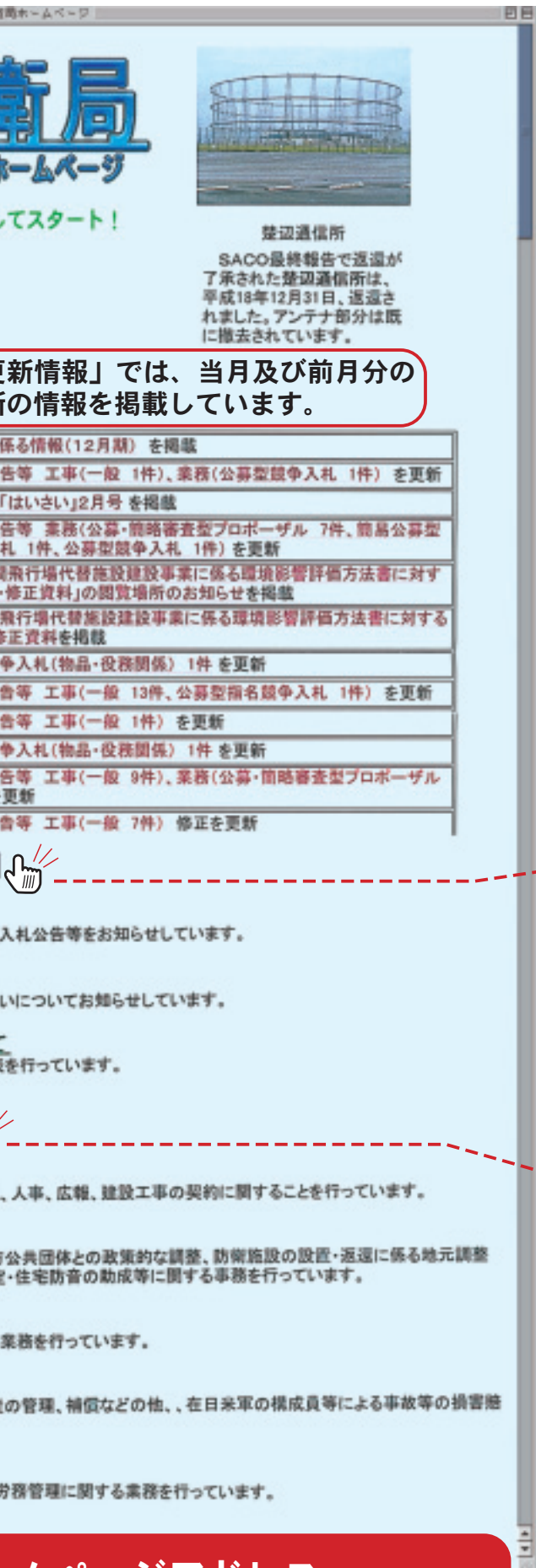
の日射しから肌寒く感じる季節へと変わってきましたが、気候にも馴染み、初めての沖縄勤務を快適に過ごさせていただいております。

週末は仕事を離れて、ガイドブックを頼りに行き先を決めては、観光スポットをドライブし、美ら島の魅力を満喫しています。また、入れ替わり遊びに来る妻の友人達も青い空・エメラルド色の海、色鮮やかな花、初めての泡盛、琉球舞踊など沖縄のすばらしさを肌で感じて帰っているようです。

そんな中でも私のお気に入り、琉球王朝の城下町として栄えた頃のたたずまいを伝える首里城下の散策です。趣味のカメラを片手に早朝散歩に出かけると、拝所で熱心に祈る人、お年寄り達の太極拳、近所の皆さんが集まったの石畳通りの清掃、伝統的な赤瓦の屋根や石畳の残る街並、この地で暮らす人々の息づかいが聞こえてくるような絶好の撮影ポイントです。秋には十五夜の月とライトアップされた首里城を画面に納めるのは苦労しましたが：：(写真の出来はさておき)首里城物見台(西のアザナ)から眺める那覇市街の夜景は最高でした。

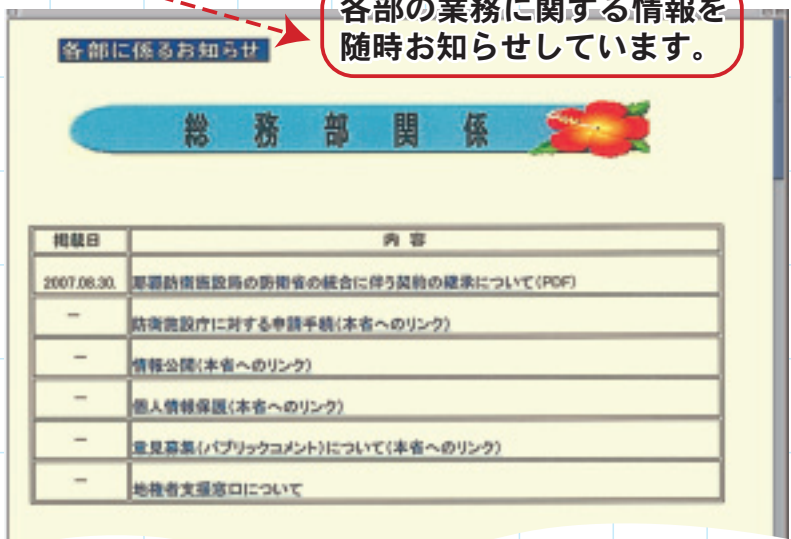
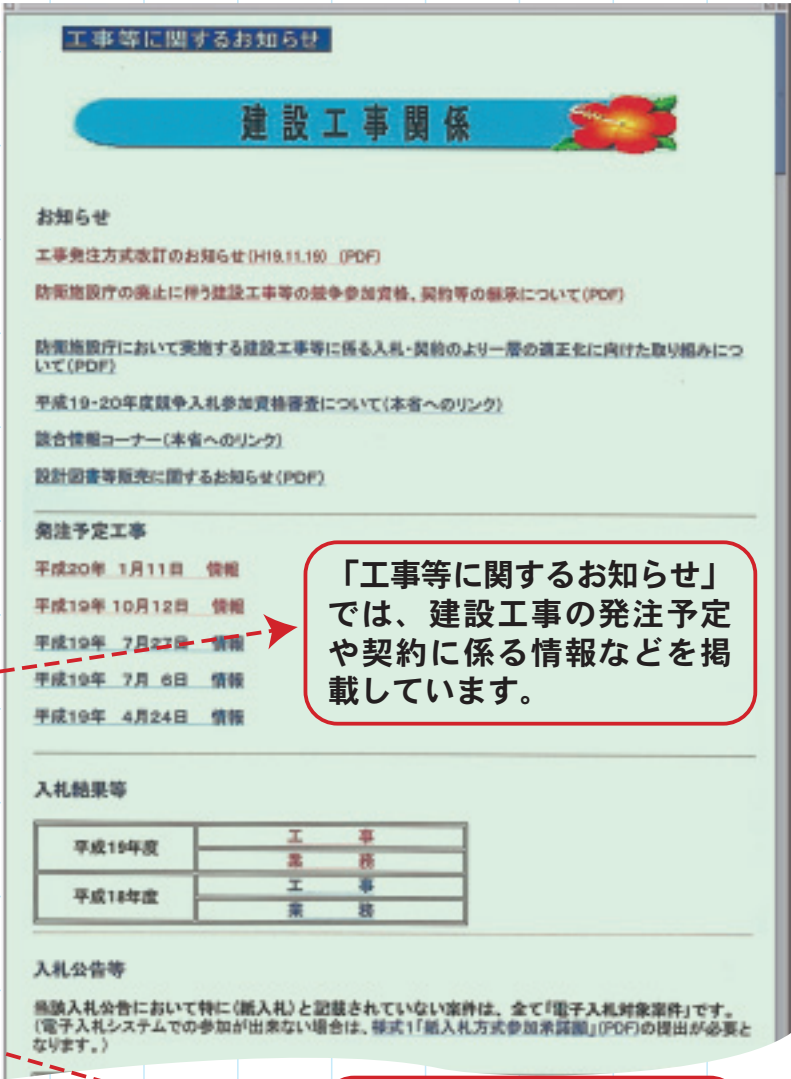
このように沖縄生活を楽しんでいる私ですが、沖縄県における防衛局の役割を十分に認識し、全力で業務に取り組んでまいりたいと思っておりますので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願ひ致します。

(管理部長)



ホームページを紹介します

当局ホームページは平成12年6月に開設し、昨年9月にリニューアルしました。
 今後さらに多くの皆様に利用していただけるよう、分かりやすい内容、迅速な情報提供などに努めてまいります。皆様からのアクセスをお待ちしております。



ホームページアドレス
www.mod.go.jp/rdb/okinawa/

沖縄防衛局 業務案内

主な業務

沖縄県には全国の米軍施設・区域（専用施設）の約74%が集中しており、我が国の平和と安全のために沖縄県の皆様には、様々な負担をかけている状況にあります。

このような負担を軽減するために日米軍施設・区域の整理・統合・縮小に向けた様々な取り組みを行っています。

「沖縄に関する特別行動委員会（SACO）最終報告」（平成8年12月に沖縄の負担を軽減するため土地の返還などを日米安全保障協議委員会です承）

「再編実施のための日米のロードマップ」（平成18年5月、抑止力を維持しつつ在日米軍施設・区域が集中する沖縄をはじめ施設・区域の周辺における負担を軽減するために在日米軍の配備などの見直しを日米安全保障協議委員会です承）

また、沖縄防衛局では、防衛施設の取得・建設・管理などを行うほか、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、次の業務を行っています

- 防衛施設の取得・管理
- 防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策
- 在日米軍施設・区域の返還補償等
- 漁業などの補償
- 損害の賠償
- 防衛施設の建設

当局の役割などについて、「業務案内」を掲載しています。

○防衛施設の取得・管理



高平納降降場

- ・面積 約2,000ha(成田空港の約2倍)
- ・土地所有者 約8,800人
- ・年保償料額 約250億円

沖縄県では、県土面積の約10%、本島面積の約18%が米軍専用施設・区域となっており、その他、自衛隊施設が所在しています。

これら防衛施設用地のうち、米軍専用施設用地（約229km²）の約67%、自衛隊施設用地（約7km²）の約85%は民公有地で、土地所有者の数はおよそ39,000人となっています。

当局は、これら土地所有者の方々と賃貸借契約を締結するなどして土地の使用権を得ているところです。

また、借り上げている用地などの他、国有財産としての土地や建物、工作物があり防衛施設として使用されているこれらの財産の維持、管理などを行っています。



沖縄防衛局

那覇防衛施設局は、沖縄防衛局と

沖繩防衛局とは？

お知らせ

更新情報

2008.2.8	契約に係る情報	契約に
2008.2.8	建設工事関係	入札公
2008.2.8	はいさい	広報紙
2008.2.7	建設工事関係	入札公
2008.2.5	企画・調達部関係	「普天間
2008.2.5	企画・調達部関係	普天間
2008.2.4	調達・売払い関係	一般競
2008.2.1	建設工事関係	入札公
2008.1.30	建設工事関係	入札公
2008.1.25	調達・売払い関係	一般競
2008.1.25	建設工事関係	入札公
2008.1.23	建設工事関係	入札公

採用情報

はいさい

工事等に関するお知らせ

建設工事関係
建設工事に係る発注予定、入札結果、

調達・売払い関係
物品・役務の調達、返還物品等の売払

契約に係る情報について
公共調達の適正化に基づく情報の公

各部に係るお知らせ

総務部関係
総務部は、総務、会計に係る事務の他

企画部関係
企画部は、防衛行政全般について地方

調達部関係
調達部は、防衛施設の建設に関する


管理部関係
管理部は、防衛施設用地の取得、財産

労務管理官関係
労務管理官は、在日駐軍従業員の

はいさいトップページ

平成19年度版 | 平成18年度版 | 平成17年度版

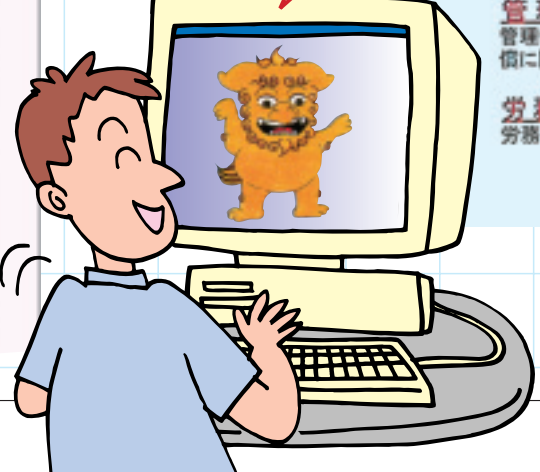
本報紙「はいさい」はPDF形式で掲載しています。
最新の紙まやうスでダウンロードし、PDFファイルでご覧いただけます。

2月1日 第104号	面	目次
	1面	一任のあいさつ(真部局長)
	2面~3面	普天間飛行場代替施設の建設計画について
	4面	ゆんたくすの「私の物語り」

シーサー

広報紙「はいさい」は過去3年分を掲載しています。

クリック!



ホー
<http://www>



トライアスロンの醍醐味

—トリプル・ドリンクング・ハイで乾杯—

施設取得第1課長 當眞 嗣満



身体を動かすのが好きな私がトライアスロンを始めた動機は10数年前にさかのぼる。

平成6年3月。異動の内示があり、自分の送別会が予定されていた当日朝の通勤途中、東京六本木の交差点を渡っていた。当然、横断歩道の信号は青だったのだが、ブレーキとアクセルを間違えた車に跳ねられ、更に対向車線から走ってきたタクシーにも跳ねられてしまった。とっさに脚が残っているか手探りしたら、ボツキリと折れ曲がった程度。さすがに歩行不能ながらもひと安心。救急車で搬送中も夕方の送別会のことになっていた。

その後、左ヒザの骨折箇所と腰からの骨移植を含む二度の手術、そして担当医からの術後の告知。「元の状態に戻るかは保証できない。正座も、走ることも、気長にこの障害と付き合っていかなければならないでしょう」ショックで声も出なかった。

退院後は、元に戻りたい、走れるようになりたいの一心で、温水プールの単調なりハビリを長時間繰り返した。そのころ、大変な逆境を乗り越えている義足のトライアスリート「Fさん」の存在を知り、励みになった。いずれは私もトライアスロンに出てみたい。完走した時点があの事故の完結だと。

それからは、イヤイヤやっていたりハビリにも熱が入った。不得手だったスイムも何とか泳げるようになり、ある程度

自信がついてきた。バイクも購入した。そうなる問題は以前のように走れるかどうかである。

復帰レースは、横田基地でのハーフラソンにした。数年のブランクでイメージどおりの走りにはほど遠かったが、普通のランニングフォームで走れること自体がうれしくて、涙しながら走った。

その後、東京から20年ぶりに沖縄勤務となり、宿舎から8kmの通勤ランニングを始め、トライアスロン石垣島大会に備えた。そして、初めて挑んだトライアスロン。結果は500人中128位で、スイム以外は納得の内容だった。

よく「三種目のうちでどれが苦しい」と問われることがある。私はすかさず、「いずれが苦しいのではなく、三種目とも楽しめる」と答える。トライアスロンは、いわゆる「ランナース・ハイ」の気分を、一度に三種類味を兼ねる唯一の競技なのだと思う。例えばよくないかもしれないが、ひとつのグラスで「泡盛、ビール、日本酒」それぞれの醍醐味が同時に味わえる感覚。さしずめ三種類のハイな気分を一度に楽しめる「トリプル・ドリンクング・ハイ」といったところだろうか。

この楽しさを多くのの人に知ってもらいたい。

そして、ここ沖縄をトライアスロンパラダイスにしたいものです。



新 規 採 用 者 紹 介



平川 健太 (施設対策計画課)

すべてのことが初めてで、先輩方に教えてもらいながらの毎日です。私は身長が189cmあり、しばしば周囲の人から「よく目立つね」と言われることがあります。身長ばかりではなく、仕事でも目立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。(平成19年10月1日採用)



幸喜 綾乃 (業務課)

入局当初は、目の前が部長室・次長室という状況に「とんでもない席に座らされたな・・・」と毎日緊張していましたが、今では先輩方と冗談を交わしながら楽しく仕事をしています。早く一人前になれるよう、日々精進していきたいと思ひます。(平成19年10月1日採用)



古謝 哲 (施設取得第2課)

仕事の内容は想像以上に難しく、毎日が勉強の日々です。まだまだ分からないことだらけですが、気合いを入れ頑張っ仕事をおこなしていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。(平成19年11月1日採用)



琉球歴史漫歩 三線 (サンシン)

結婚式などの祝いの席やエイサー太鼓の音とともに聞こえてくる三線の音。沖縄芸能のひとつである三線は、14世紀〜15世紀頃中国から琉球に伝わったとされています。琉球王朝は三線の製作や改良に力を入れ、多くの名工によって名器が生み出され宮廷楽器として丁寧に扱われました。琉球王朝の廃止後、三線は庶民の間にも広まり、人々が三線の音に合わせて唄や踊りを楽しむようになり、また、家宝として床の間に飾られるまでになりました。

戦後、荒廃した生活の中にあつても、空き缶を使い、パラシュートの紐を絃にした「カンカラ三線」をひいて、心を癒し平和を願ったといひます。

今日では、大人から子供まで多くの人達が三線に親しんでおり、沖縄音楽ブームに乗って、その独特のリズムは日本全国に広がっています。さあ、あなたも三線を始めてみませんか。

